



# ひばりっこだより



vol.29

8月号

8月になり猛暑になっています。登園・出勤するだけでも暑さで体力が消耗してしまいますね。暑さで外に出られない事も多くなってきている近年ですが、職員は室内でも『涼』を感じられるように氷に触れてみたり、ジップロックに水を入れて感触を楽しんだり工夫しながら過ごしています。

これから夏休みのご家庭もあるかと思いますが、コロナ過での過ごし方、水の事故などに気をつけながら、楽しい夏の思い出を作ってくださいね。

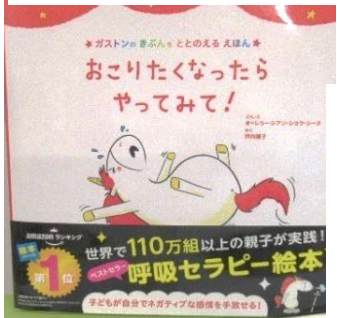


## ～保護者の方より～

ありがとうございます

『おこりなくなったらやってみて!』

保護者の方から教えていただいた絵本です。自分の気持ちを色で表します。園でも早速子どもたちと見てみました。



<さくら>



言葉にして伝えることが難しい『気持ち』。わかるかな?の気持ちで読んでみました。「こういう時ある!」「赤色なるよ～」と思っていたよりも子どもたちからの反応があり、楽しく読むことができました。

言葉にすることが難しい、自分の中のものやとした何かが色で伝えられたらすごくわかりやすいですね!みんなの気持ちが虹色でいられるような時間をたくさん作っていきたいです♪

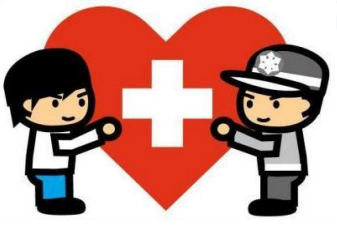
『朝顔のたね』

以前、保護者の方から朝顔のたねを頂き、園庭に植えさせてもらいました。7月中旬に咲き始め、あっという間にたくさんの朝顔でいっぱいになりました!こちらもありがとうございます。

ありがとうございます



## ～救命救急講習～



今年度は園の職員が順番に救命救急講習を受けています。私たちは、成人の救急法の他に小児の救急法も受けており、小児の人形を使って行っています。園にもAEDを備えていますが、AEDもどんどん進化していると感じ



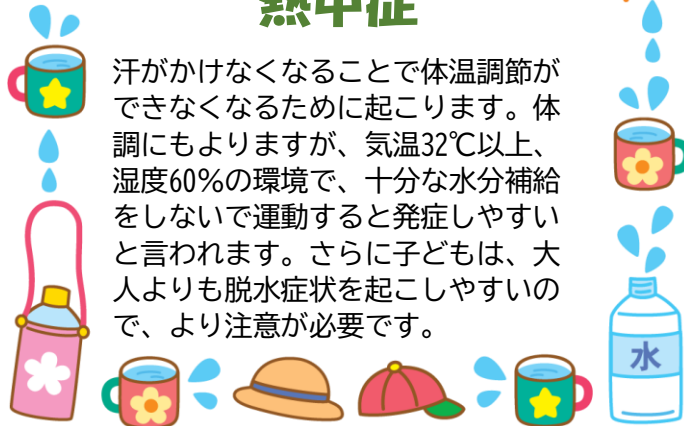
ます。今はコロナ禍になり、人工呼吸は省略の形になるそうです。AEDは役割分担も大事。職員一人ひとりの意識と共に、大切なお子さま達を守るように日々、勉強です。





## 気を付けよう！ 熱中症

夏の強い日ざしや、高温多湿の気候は、子どもの体に大きな負担がかかります。中でも心配なのが熱中症。周囲の大人が正しい知識を身につけて、暑い夏も安全に過ごせるようにしていきましょう。



汗がかけなくなることで体温調節ができなくなるために起こります。体調にもよりますが、気温32℃以上、湿度60%の環境で、十分な水分補給をしないで運動すると発症しやすいと言われます。さらに子どもは、大人よりも脱水症状を起こしやすいので、より注意が必要です。

## 熱中症にならないために

★外に出るときは、必ず帽子をかぶりましょう。

★外に出る時間帯、長さを考慮します。

★高温の室温や車の中で熱中症が急増しています。

絶対に、子どもから目をはなさないでください！



## 「熱中症？」と思ったら ～意識がある場合～

### ★涼しい所で休ませる

涼しく風通しのよい場所に本人が楽な姿勢で寝かせる。衣服のボタンやベルトを外す。



### ★体を冷やす

首の後ろに冷たいタオルなどを当てる。風を送る。



### ★水分の補給

イオン飲料など少量の塩分が入った水分を補給する。



## こんなときは救急車を



- 意識がない
- 水分の補給ができない
- 呼吸が不規則で脈が弱い
- 唇、爪、皮膚が青紫に（チアノーゼ）
- けいれんを起こしている
- 熱が下がらず、ますます上がっていく

救急車到着までは、子どもを動かさないようにし、あおぐなどして体を冷やします。